投資型年金保険

コアバリュー

年金原資保証型変額個人年金保険

特別勘定　月次運用レポート

特別勘定名称
世界資産分散型MU

2026年11月発行

［募集代理店］

［引受保険会社］

第一フロンティア生命保険株式会社
〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1日比谷フォートタワー
ホームページ https://www.d-frontier-life.co.jp/
お客さまサービスセンター
フリーダイヤル　0120-876-126
営業時間 9:00～17:00（土日、祝日、年末年始などの休日を除く）

（登）B18F0084(2018.4.20)

投資リスクについて

この保険は、国内外の株式・債券などで運用しており、運用実績が積立金額、死亡給付金額、解約返還金額などの増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動などにより、積立金額、解約返還金額は一時払保険料相当額を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

諸費用について

この保険にかかる費用は、運用期間中は「保険契約関係費」「資産運用関係費」の合計額、年金受取期間中は「保険契約関係費（年金管理費）」となります。ただし、契約日から10年未満の解約時などには、この他に別途「解約控除」がかかります。

運用期間中

◇すべてのご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
保険契約関係費	特別勘定の資産総額に対して 年率 1.95%	左記の年率の1/365を積立金から 毎日控除します。
資産運用関係費※	信託報酬は、投資信託の純資産総額に対して 年率 0.275%（税込）	左記の年率の1/365を投資信託の 信託財産から毎日控除します。

※上記の信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、監査費用、有価証券の売買委託手数料および消費税などを間接的にご負担いただくことがあります。なお、売買委託先、売買金額などによって手数料率が変動するなどの理由から、これらの計算方法は表示しておりません。記載の信託報酬は当レポート発行月現在の数値であり、運用会社により今後変更され引き上げられることがあります。

◇特定のご契約者にご負担いただく費用

項目	費用	時期
解約控除	基本保険金額（減額の場合は減額する部分の 基本保険金額）に経過年数別の 解約控除率（7.0%を上限）を乗じた金額	解約・減額または 「運用期間中年金支払移行特約」を付加した時 の積立金から控除します。

年金受取期間中

項目	費用	時期
保険契約関係費※ （年金管理費）	受取年金額に対して最大 0.35% （10年保証期間付終身年金の保証期間経過後、 および死亡時保証金額付終身年金の場合は最大 1.0%）	年金支払開始日以後、 年金支払日に控除します。

※年金額は、年金支払開始日以後、年金（死亡時保証金額付終身年金の場合の死亡時保証金額を含みます。）の支払いとともに費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。また、保険契約関係費（年金管理費）は当レポート発行月現在の数値であり、将来変更することがありますが、年金受取開始時点の保険契約関係費（年金管理費）は年金受取期間を通じて適用されます。
なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「運用期間中年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。

ご留意事項

＊年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

特別勘定の運用レポート

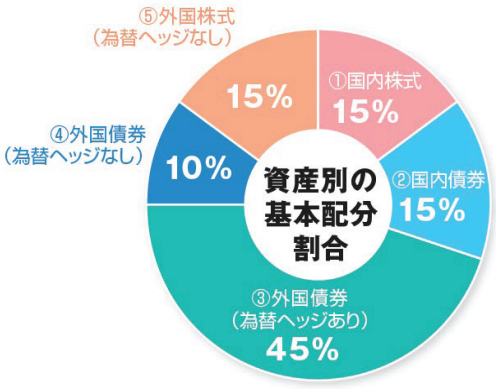
2026年10月末現在

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象の投資信託	運用会社
世界資産分散型MU	三菱UFJ バランスファンドVA 30型 （適格機関投資家限定）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主な投資対象の投資信託と運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
三菱UFJ バランスファンドVA 30型 （適格機関投資家限定）	主として内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託へ投資し、安定した収益の確保と着実な成長を目指します。基本資産配分は、国内株式15%、国内債券15%、外国株式15%、外国債券（為替ヘッジなし）10%、外国債券（為替ヘッジあり）45%です。

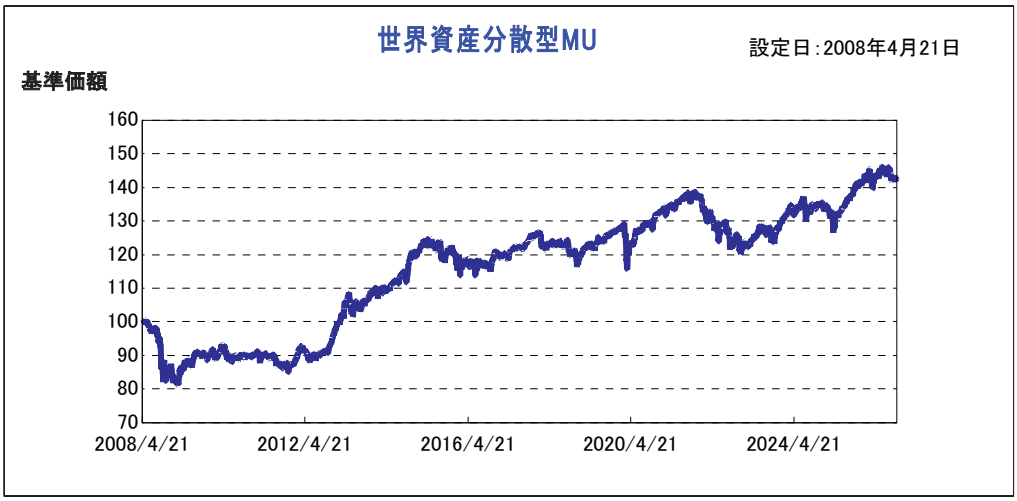


特別勘定資産の内訳

資産総額（百万円）	資産配分	
	投資信託	現預金等
2	99.7%	0.3%

＊特別勘定は、投資信託を主たる投資対象として運用する他、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有しています。
＊特別勘定資産の内訳は、投資信託の購入・解約の申し込み実績を反映しております。

特別勘定の基準価額と騰落率の推移



＊非表示部分を四捨五入

騰落率	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来	基準価額（2026年10月末）
	0.37%	−1.13%	−0.13%	1.18%	15.67%	42.81%	142.8128

＊特別勘定の基準価額の値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きとは必ずしも一致しません。
特別勘定が一定の現預金等を保有していることや、特別勘定の基準価額計算にあたり保険契約関係費を控除すること等によるものです。

＊年金原資保証型変額個人年金保険は投資信託ではなく生命保険です。また、この商品は預金とは異なり、預金保険法第53条に規定する保険金支払いの対象とはなりません。募集代理店が元本の保証を行うことはありません。
＊このレポートは年金原資保証型変額個人年金保険の特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
＊このレポートには年金原資保証型変額個人年金保険の商品内容のご説明はございません。商品のご検討にあたっては、専用のパンフレットおよび「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」を必ずご覧下さい。また、ご契約の際には、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧下さい。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

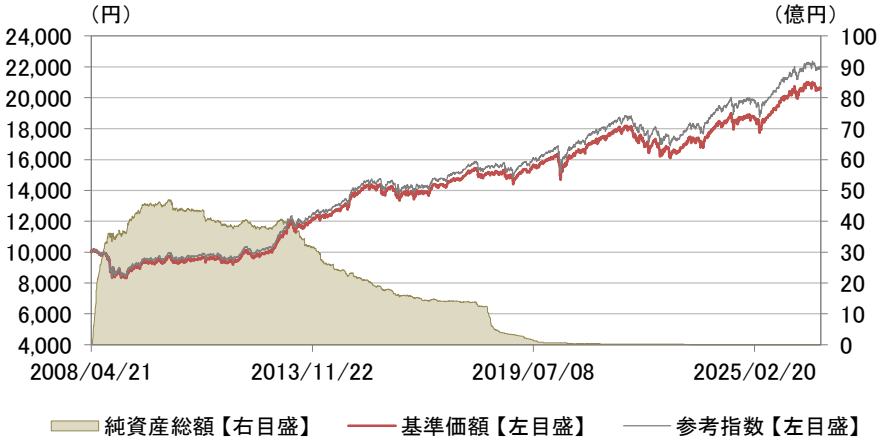
【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2026年10月末日現在

■商品概要

主要投資対象	日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券および外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
運用方針	・日本債券インデックスマザーファンド受益証券15%、TOPIXマザーファンド受益証券15%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券10%、MUAM ヘッジ付外国債券オープンマザーファンド受益証券45%および外国株式インデックスマザーファンド受益証券15%を標準資産配分とし、これを維持します。 ・各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。 ・市況動向等を勘案して、標準資産配分の見直しを行う場合があります。

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
・参考指数は、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)15%、NOMURA－BPI総合インデックス15%、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)15%、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)45%およびFTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)10%で組み合わせた合成指数です。
・参考指数は、設定日前営業日を10,000として指数化しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額(1万口当たり)	20,642円
前月末比	+111円
純資産総額	0.03億円

■分配金実績(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第18期	2026/02/20	0円
第17期	2025/02/20	0円
第16期	2024/02/20	0円
第15期	2023/02/20	0円
第14期	2022/02/21	0円
第13期	2021/02/22	0円
設定来累計		0円

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.5%	−0.6%	0.9%	3.2%	22.7%	106.4%
参考指数	0.6%	−0.5%	1.1%	3.6%	24.1%	119.8%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■資産構成

	標準資産配分	ﾌｧﾝﾄﾞの資産構成	各資産の月次騰落率
国内株式	15.0%	14.5%	−3.5%
国内債券	15.0%	15.1%	1.8%
外国株式	15.0%	15.1%	0.9%
外国債券(ヘッジあり)	45.0%	44.4%	1.2%
外国債券(ヘッジなし)	10.0%	9.9%	1.4%
コールローン他	0.0%	1.0%	―

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

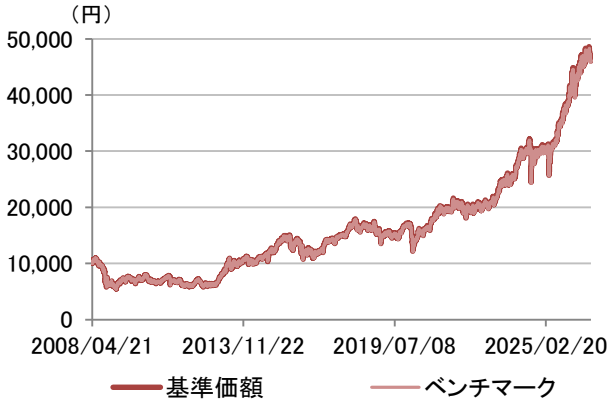
【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2026年10月末日現在

各マザーファンドの運用状況　TOPIXマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)です。

■ファンドの特色

・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
・東京証券取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)から乖離するリスクと運用コストの極小化を目的として、定量的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築と適切な売買執行を行います。
・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.5%	−0.0%	7.5%	21.7%	88.8%	360.7%
ベンチマーク	−3.5%	−0.0%	7.5%	21.7%	88.8%	358.0%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.0%
内　現物	98.8%
内　先物	1.2%
コールローン他	0.0%

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	電気機器	19.8%	20.1%
2	銀行業	11.8%	12.0%
3	卸売業	7.6%	7.7%
4	情報・通信業	6.3%	6.4%
5	機械	5.2%	5.3%
6	輸送用機器	5.1%	5.2%
7	サービス業	4.8%	4.9%
8	化学	4.5%	4.6%
9	小売業	3.9%	4.0%
10	保険業	3.8%	3.8%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,668銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.7%	3.8%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%	2.7%
3	リクルートホールディングス	サービス業	2.6%	2.6%
4	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.4%	2.4%
5	ソニーグループ	電気機器	2.3%	2.3%
6	日立製作所	電気機器	2.3%	2.3%
7	アドバンテスト	電気機器	2.0%	2.0%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.8%	1.9%
9	東京エレクトロン	電気機器	1.7%	1.8%
10	東京海上ホールディングス	保険業	1.5%	1.5%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

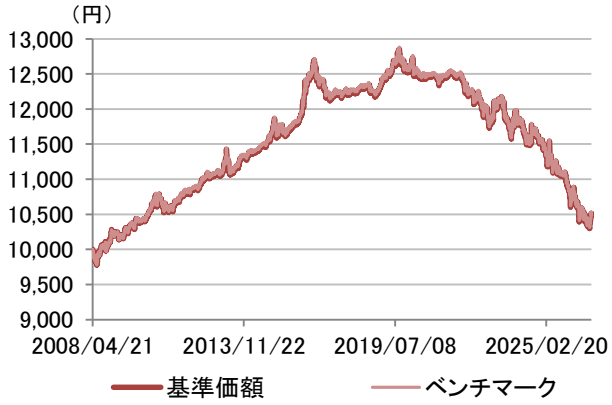
【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2026年10月末日現在

各マザーファンドの運用状況　日本債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、NOMURA－BPI総合インデックスです。

■ファンドの特色

・NOMURA－BPI総合インデックスと連動する投資成果をめざして運用を行います。
・NOMURA－BPI総合インデックスに採用されている公社債を主要投資対象とします。
・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。
・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.8%	0.5%	−0.6%	−5.2%	−9.2%	5.1%
ベンチマーク	1.8%	0.5%	−0.7%	−5.2%	−9.2%	5.3%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質国内債券	99.5%
内　現物	99.4%
内　先物	0.1%
コールローン他	0.5%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	2.6%	2.6%
デュレーション	7.5	7.6

・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.3%
1～3年	22.8%
3～7年	30.5%
7～10年	17.3%
10年以上	28.4%

■種別組入比率

種別	比率
国債	83.7%
地方債	5.9%
政府保証債	1.3%
金融債	0.2%
事業債	7.3%
円建外債	0.2%
MBS	0.9%
ABS	0.0%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,160銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第163回利付国債(5年)	国債	0.4000%	2028/09/20	1.4%
2	第166回利付国債(5年)	国債	0.4000%	2028/12/20	1.2%
3	第172回利付国債(5年)	国債	0.5000%	2029/06/20	1.2%
4	第178回利付国債(5年)	国債	1.0000%	2030/03/20	1.1%
5	第373回利付国債(10年)	国債	0.6000%	2033/12/20	1.1%
6	第174回利付国債(5年)	国債	0.7000%	2029/09/20	1.1%
7	第381回利付国債(10年)	国債	2.1000%	2035/12/20	1.1%
8	第376回利付国債(10年)	国債	0.9000%	2034/09/20	1.1%
9	第369回利付国債(10年)	国債	0.5000%	2032/12/20	1.0%
10	第378回利付国債(10年)	国債	1.4000%	2035/03/20	1.0%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・NOMURA－BPI総合インデックスとは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

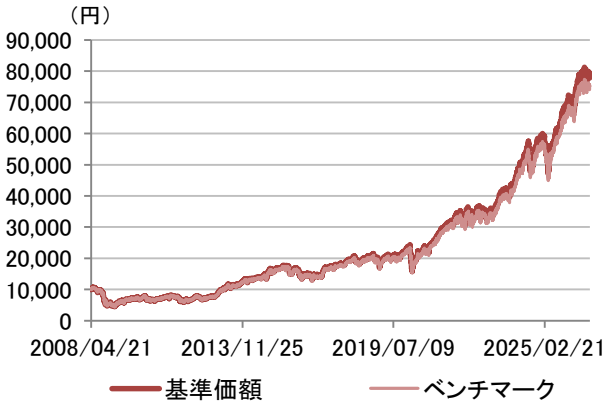
【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2026年10月末日現在

各マザーファンドの運用状況　外国株式インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)です。

■ファンドの特色

・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)に採用されている株式を主要投資対象とします。
・株式の実質投資比率(組入現物株式の時価総額に株価指数先物取引等の買建額を加算し、または株価指数先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。
・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.9%	0.6%	6.0%	16.5%	98.0%	690.2%
ベンチマーク	0.8%	0.6%	5.8%	16.2%	96.8%	652.2%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国株式	100.0%
内　現物	99.1%
内　先物	0.9%
コールローン他	-0.0%

■組入上位10業種

	業種	比率
1	半導体・半導体製造装置	13.7%
2	ソフトウェア・サービス	8.8%
3	テクノロジ・ハードウェア・機器	8.7%
4	資本財	7.5%
5	医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.4%
6	銀行	6.7%
7	金融サービス	6.3%
8	メディア・娯楽	6.0%
9	エネルギー	4.6%
10	一般消費財・サービス流通・小売り	4.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,081銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	5.9%	6.0%
2	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.7%	5.7%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.3%	4.4%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%	2.8%
5	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.8%	1.8%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%	1.9%
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%	1.5%
8	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.6%	1.6%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.3%	1.3%
10	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.3%	1.3%

■組入国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	77.0%
2	イギリス	3.6%
3	カナダ	3.6%
4	スイス	2.4%
5	フランス	2.3%
	その他	10.1%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS(世界産業分類基準)で分類しています。・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2026年10月末日現在

各マザーファンドの運用状況　MUAMヘッジ付外国債券オープンマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です。

■ファンドの特色

・世界主要国の公社債(日本を除く)を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)を中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行います。
・運用にあたっては、クオンツモデルを活用することにより主要国の各債券市場を分析し、債券の残存期間構成戦略を超過収益の源泉とします。また、為替変動リスクを回避するため、原則としてフルヘッジを行います。
・株式への投資は、転換社債および転換社債型新株予約権付社債の転換等により取得したものに限ります。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.2%	−1.0%	−1.4%	−3.0%	−0.2%	17.7%
ベンチマーク	1.3%	−0.9%	−1.2%	−2.9%	0.0%	17.7%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資限定)の設定日(2008年4月21日)を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国債券	98.3%
内　現物	98.3%
内　先物	0.0%
コールローン他	1.7%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	4.0%	4.1%
デュレーション	6.0	6.1

・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	0.1%
1～3年	28.7%
3～7年	30.5%
7～10年	18.7%
10年以上	20.3%

■組入国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	45.3%
2	中国	13.7%
3	フランス	6.0%
4	イギリス	5.9%
5	イタリア	5.2%
	その他	22.2%

■組入通貨

	通貨	比率
1	日本円	98.7%
2	米ドル	0.6%
3	ユーロ	0.4%
4	中国元	0.2%
5	英ポンド	0.1%
	その他	0.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 210銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1	3.875 T-NOTE 280715	国債	3.8750%	2028/07/15	アメリカ	4.4%
2	5 T-NOTE 310930	国債	5.0000%	2031/09/30	アメリカ	3.3%
3	3.875 T-NOTE 300430	国債	3.8750%	2030/04/30	アメリカ	3.0%
4	4.25 T-NOTE 280215	国債	4.2500%	2028/02/15	アメリカ	2.6%
5	3.5 T-NOTE 290215	国債	3.5000%	2029/02/15	アメリカ	2.6%
6	4.75 T-BOND 431115	国債	4.7500%	2043/11/15	アメリカ	2.4%
7	2.75 O.A.T 290225	国債	2.7500%	2029/02/25	フランス	2.2%
8	2.55 CHINA GOVT 281015	国債	2.5500%	2028/10/15	中国	2.1%
9	2.6 BUND 340815	国債	2.6000%	2034/08/15	ドイツ	2.0%
10	2.75 CHINA GOVT 290615	国債	2.7500%	2029/06/15	中国	2.0%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率です。為替ヘッジ相当分は日本円で表示されます。・FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

2026年10月末日現在

各マザーファンドの運用状況　外国債券インデックスマザーファンド

■基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
・ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。

■ファンドの特色

・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)に採用されている国債を主要投資対象とします。
・公社債の実質投資比率(組入現物公社債の時価総額に債券先物取引等の買建額を加算し、または債券先物取引等の売建額を控除した額の信託財産の純資産総額に対する割合をいいます。)は原則として高位を維持します。ただし、対象インデックスとの連動を維持するため、実質投資比率を引き下げる、あるいは実質投資比率を100%以上に引き上げる運用指図を行うことがあります。
・銘柄選択は、運用モデルを活用して行います。
・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

■騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.4%	−3.0%	−3.0%	1.7%	22.0%	91.5%
ベンチマーク	1.3%	−3.1%	−3.2%	1.7%	21.9%	91.7%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)の設定日(2008年4月21日)の前営業日を起点として計算しています。

■資産構成

	比率
実質外国債券	99.3%
内 現物	99.3%
内 先物	0.0%
コールローン他	0.7%

■ポートフォリオ特性

	ファンド	ベンチマーク
最終利回り	4.1%	4.1%
デュレーション	6.0	6.1

・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを示しています。
・デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示しています。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	1.4%
1～3年	28.8%
3～7年	33.1%
7～10年	14.1%
10年以上	21.9%

■組入国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	44.6%
2 中国	13.2%
3 フランス	6.5%
4 イタリア	6.0%
5 イギリス	5.7%
その他	23.3%

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	44.7%
2 ユーロ	27.0%
3 中国元	13.3%
4 英ポンド	5.8%
5 カナダドル	2.1%
その他	7.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,080銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 0.875 T-NOTE 301115	国債	0.8750%	2030/11/15	アメリカ	0.8%
2 2.75 T-NOTE 320815	国債	2.7500%	2032/08/15	アメリカ	0.7%
3 0.625 T-NOTE 300815	国債	0.6250%	2030/08/15	アメリカ	0.7%
4 4.125 T-NOTE 321115	国債	4.1250%	2032/11/15	アメリカ	0.6%
5 1.625 T-NOTE 310515	国債	1.6250%	2031/05/15	アメリカ	0.6%
6 2.375 T-NOTE 290515	国債	2.3750%	2029/05/15	アメリカ	0.6%
7 5.375 T-BOND 310215	国債	5.3750%	2031/02/15	アメリカ	0.6%
8 0.625 T-NOTE 300515	国債	0.6250%	2030/05/15	アメリカ	0.6%
9 1.375 T-NOTE 311115	国債	1.3750%	2031/11/15	アメリカ	0.6%
10 2.875 T-NOTE 320515	国債	2.8750%	2032/05/15	アメリカ	0.5%

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)は、FTSE世界国債インデックス(除く日本)・データに基づき委託会社が計算したものです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

〈参考情報〉 **組入投資信託の運用レポート** 【特別勘定の名称】 世界資産分散型MU

※本資料は、特別勘定に組み入れている投資信託の運用状況を参考情報として開示するもので、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が作成した運用レポートを第一フロンティア生命保険株式会社よりご提供するものです。
※この投資信託の基準価額の変動は、特別勘定の基準価額の変動とは異なります。また、ご契約者が直接投資信託を保有しているものではありません。
※本資料に記載されている運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資信託の名称】
三菱UFJ バランスファンドVA 30型（適格機関投資家限定）

【設定・運用】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

■市況動向

2026年10月末日現在

国内株式

当月の国内株式市況は下落しました。米新興AI企業コアウィーブの信用不安を背景にAI過剰投資リスクを巡る懸念が広がったことや、原油価格高騰が続いたことなどが投資家心理の重しとなり、株式市況は軟調に推移しました。

国内債券

当月の国内長期金利は低下しました。米新興AI企業コアウィーブの信用不安などを背景にAI過剰投資リスクが懸念され、国内外の株式市況が下落した局面で相対的に安全資産とされる国債への資金シフトがみられたことなどが金利低下要因となりました。

外国株式

当月の米国株式市況は上昇しました。AI向けクラウドサービス大手コアウィーブの信用不安を背景にAI過剰投資リスクが懸念されたことや、一部の大手ハイテク企業決算を受けてAI投資拡大に伴うキャッシュフロー悪化が嫌気されたことなどから、株式市況が下落する場面もみられました。しかし、10月米連邦公開市場委員会（FOMC）で事前予想通りに政策金利が据え置かれたことなどが投資家心理の下支えとなり、月を通してみると株式市況は上昇しました。
ドイツ株式市況は上昇しました。月初は世界的な金利高止まりやエネルギー価格高騰などが重しとなりましたが、その後は良好な企業業績などを背景に株式市況は底堅い展開が続きました。

外国債券／為替

当月の米国長期金利は低下しました。AI向けクラウドサービス大手コアウィーブの信用不安などを背景にAI過剰投資リスクが懸念され、株式市況が下落する局面で国債需要が高まったことや、10月米連邦公開市場委員会（FOMC）で事前予想通りに政策金利が据え置かれたことなどから、長期金利は低下しました。
ドイツ長期金利は低下しました。フランスの政治・財政を巡る情勢が悪化するなか、相対的に安全資産とされるドイツ国債の需要が高まったことや、欧州中央銀行(ECB)が10月政策理事会で事前予想通りに政策金利を据え置いたことなどから、長期金利は低下しました。
為替は、対円で米ドルが小幅に上昇し、ユーロが下落しました。

・本資料は、三菱UFJアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。